



河辺林通信

建部北町の森から

2017年9月号 No.233

↑例年に比べて少ない、ニイニイゼミの抜け殻

初?環境学習ボランティア

この夏は、初めて?の試み、夏休みのイベントを遊林会ボランティアの方にお手伝いいただきました！イベントの内容は小学校高学年向けの竹工作。小刀やノコギリなど道具の使い方の説明をした後、実際に子ども達が思い思いに作品を作っていました。

ボランティアの方には、子ども達の工作のお手伝いをお願いしました。みなさん工作が得意ですが、自分で作るのと人に教えるのではやはり違うようで、初めのうちは戦慄苦悶。しかし、時間が経つにつれて、教えてもらっている子達の技術が上がっているように見えました。



これまで遊林会のメンバーには森の保全をメインに活躍していただいてきました。しかし、市役所体制の変化や子ども達の受け入れ人数の多さ（秋は一日3団体対応）、スタッフ体制の変化もあり、今回は環境学習の対応をお願いしました。

事務局の段取りが悪く、戸惑いながらの本番でしたが、途中からは、さすが、という所でした。子どもへの対応は大変なぶん、帰ってくる喜びも大きいのですが、午前中の山仕事の後のぶつけ本番では、ちょっとしんどかったかな～？ありがとうございました。

また、ゆくゆくは、子ども達への自然体験活動や、環境学習への支援ボランティアもできたらいいなあと思っていますので、興味のある方はご一報下さい。

4回目のモリイコ！とモリイコ！Sは・・・

今回は「染めものに挑戦」ということで、くさはらに生えているメリケンカルカヤで草木染めをしました。カマを使ったり、草をお鍋でグツグツ煮たり、初めてのことがたくさんで興味津々。次はなにするの？どうするの！？と前のめりでカバン作りをしました。

お昼からは班に分かれて森たんけんに。クズのツルを力を合わせて引っ張り、班で長さ対決をしたり、緑色と茶色がまだらのドングリを拾ったり、夏の終わりの森を楽しみました。



「モリイコ！S」はあべまき隊・くぬぎ隊合同で、16人での活動でした。まずは班で森へミッショ探し。開始からワイワイと森の中へと繰り出して行きました。

午前は竹で水てっぽう作り。ノコギリはもう慣れた手つきですが、ひもを括ったり、竹の太さが合わなかったり手こずりながらも完成！思いきり遊びました。

午後は「川のいきものつかみ大会」で班対抗で力いやヤゴ、魚をつかまえて数を競ったり、サワガニでレース対決したりして盛り上がり、丸一日賑やかな活動となりました。

●8月の作業だより

第2土曜日（8月11日）18人

第2土曜日は休館日だったので、第2金曜日に行われました。

①水辺外来種退治班 チクゴスズメノヒ工、オオカナダモの駆除をしました。

②クズ、セイタカアワダチソウの駆除 草原広場周辺を中心に作業しました。

③イオンお仕事体験の準備 京都イオンのお仕事体験のイベントに遊林会が初出展するため、出張準備の手伝いをしていただきました。

④お昼ご飯班 暑い日だったので冷たい「そうめん」をツルツルっと、美味しくいただきました！

木ままクラブ（8月17日）9人

野神さんの竹林で竹伐りを行いました。伐った竹は、秋以降のやまのこ活動で利用させていただきます。

第4水曜日（8月23日）20人

午前中は17日に引き続き野神さんの竹林の竹伐りを行いました。その後は、林内の草刈り、水辺のオオカナダモ、ドクダミ、スギナの駆除をしました。この日は、夕方から「森の地蔵盆」が行われたので、午後からはヨーヨー釣りの風船ふくらましや、こよりの準備などを手伝っていただきました。非常に暑い日の中、長時間活動いただきありがとうございました。

9月の活動日

秋の遠足、ドングリ拾いに向けて、夏の間に生い茂った草刈りがメインです。

9/9 (土)	草刈り 水辺外来種退治 <13時すぎまで>
9/14 (木)	梵釈寺 草刈り
9/27 (水)	草刈り 枯れ木の伐採 <15時すぎまで>

朝9:00～(遅刻可)
第2土曜日は、9:00より
1時間ほど観察会を行います

8月観察会

みなさんは夏と言えば何を思いつくでしょうか？私は、「蚊」と「蝉」を見ると夏だなと思います。



↑蚊について出題中

というわけで、8月の観察会は蚊と蝉についてです。

まずは、蚊についてクイズ形式で紹介しました。

続いて蝉についてもクイズ形式で紹介。「世界には何種類の蝉がいるの?」「蝉という名前の由来は?」などなど、へえ～となるようなクイズを出題しました。

蚊と蝉について少し詳しくなったところで、森の中へ行き、蝉時雨を聞いてもらいました。この時期は蝉時雨がとても気持ちよく聞こえるのでオススメです！

一匹ではただうるさく感じてしまうこともある蝉の鳴き声も、蝉時雨になるとどこか風流のように感じます。



↑蝉時雨を聞きに森へ

「閑さや岩にしみいる蝉の声」。有名な芭蕉の俳句です。ここでの「蝉の声」はニイニイゼミだそうです。蝉の声を、この句のように感じられる季節は夏だけです。

まだ暑い夏が続いますが、その中にある閑さを堪能したいと思います。

夏のイベントが終わって

今年も森では、毎年恒例の人気イベントが行われ、賑やかな夏の森をすごしました！

「葉っぱコレクション」



←葉っぱの
標本を
作りました



←「オセロ」
を作りました

「森の芸術家」



↑低学年部



↑高学年部



地蔵盆の様子→

「森の地蔵盆」

夕方から森で遊んだ後、最後は真っ暗な森で肝試し！ 蜂火のついた提灯を持って森をまわる子ども達。ちょっと怖い思いをしたけれど、夜の森歩きは中々出来ない経験。みんなではぐれないように気遣いながら森を進んで行く子ども達の姿をほほえましく見ていきました。長い夏休みは普段出来ないことをじっくり行える良い機会ですよね！一つ一つの経験が、子ども達の成長に繋がってくれると嬉しいです。遊林会のボランティアの皆様やインターンシップの大学生の皆様のご協力のお陰で今年の夏休みのイベントも無事終えることが出来ました。ありがとうございました！

編集後記

森に来てくれる子ども達は、暑い中でも元気に遊んでいます。見習わなければと思うのですが、なかなか出来ないものです。しかし、外に出てみるとワクワクが多いことに気づきます。セミの抜け殻や、大きく育ったバッタなど。日々を追う毎に変わる森の様子を、日々感じていきたいです。

望月

【発行者】

〒527-0003
滋賀県東近江市鑑部北町531
特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田三良
電話：0748-20-5221
メール：ikimono@e-omi.ne.jp